

2025 年 9 月 26 日

習志野市立袖ヶ浦東小学校 令和 7 年度国語科公開研究会

暗黙の了解にあった「古き良き時代の〈よい国語の授業〉」  
という幻想を乗り越えるための視点

敬愛大学教育学部

伊 坂 淳 一

**要旨** 「一斉全体・解説型授業を見直し、すべての児童が自分の考えを形成し、言語化する「読むこと」の国語授業をつくる」(本研究会案内キャッチコピー) ために、従来の国語授業でほぼ暗黙の前提となっていた「ふつうのこと、あたり前に思ってきたこと」から解放されることを目標として、ふつうの公立学校でできる授業づくりの改革を模索し、具体化することを提案したい。

(1) 公立学校の公開授業研究会の価値付けについて

- ① 参加者の意識を、「うまい授業」や「授業のうまい先生」を見に行く会から、学校からの新しい提案を聞きに行く会へと転換すべきこと。
- ② 公開授業研究会を行う学校は、授業づくりの新しいコンセプトに立った、新しい提案を学校全体で実践し、主張すべきこと。
- ③ ふつうの公立学校がする提案は、ふつうの学校のふつうの先生が少しの意識改革によって実現できる授業改善であるべきこと。

(2) 国語授業の課題と授業改善の意識化について

(1) 単元の構想

- ① 「はじめに教材ありき」から脱却するために、「目標」(学習指導要領の指導事項) から出発して、その目標に最適な「教材」を自身の視点から設定できること。
- ② 形式的で形骸化した「評価規準」を設定しないこと。「評価規準」を教材や授業方法に即した「評価の実際」(本校での仮称) に具体化できること。

(2) 授業の実施

- ① 一斉全体で行う説明中心の授業からの転換を図り、すべての学習者が自分の考えや思いを形成し、言語化する過程を最重視すること。
- ② 「読むこと」の授業であっても、すべての学習者が自分に適した形で自分の考えや思いを言語化(今回は文章として「書くこと」)ができるようにすること。そのために、すべての学習者が自分の考えや思いを「書く」時間を確保すること。
- ③ すべての学習者が「書く」ために、アシストの手立てを用意すること。
- ④ 授業者の「読み方」や指導参考書の「読み方」(授業者や指導参考書の解釈=教えたいこ

と)に導く授業にしないこと。そのために、次のようなあたり前を見直す、やめること。

- ・対話式の一斉解説型全体授業で、小発問→挙手・指名→板書を循環すること
- ・学習者の発言から都合のよいところを切り取って板書すること
- ・授業者の読み方を形にする「まとめ」を授業の最後にすること、「まとめ」を板書したり、書き写させたりすること
- ・「よい授業」につなげるための指名計画をすること
- ・授業者の安易な評価コメント（例：「〇〇さんがいいことを言ってくれた」）をすること

- ⑤ 「まとめ」に代えて、学習者一人一人の個別最適な学び、自己調整能力につながる「ふりかえり」を重視すること。そのために、必要に応じて「ふりかえり」の視点を提示すること。

---

## 参考文献

- 葛原順也・花岡隼佑 2024『ごくふつうの公立小学校が、校内研究の常識を変えてみた』明治図書出版
- 栗田潤平『いまからはじめる自己調整学習・自由進度学習スタートブック』明治図書出版
- 白杉亮『自己調整につながる学習理論をビジュアルでまとめました』明治図書出版
- 瀧口直樹『自己調整する自主学习』明治図書出版
- ネットワーク編集委員会編 2024『一斉・説明中心の授業再考』（授業づくりネットワークNo.49）学事出版
- ネットワーク編集委員会編 2022『個別最適な学び』（授業づくりネットワークNo.40）学事出版
- 水戸部修治 2023『国語授業の「個別最適な学び」と「協働的な学び」 主体的な学びを支える「ロングレンジ」の学習活動』明治図書出版
- 水戸部修治 2024『「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する国語授業モデル 主体的な学びを支える「ロングレンジ」の学習アイデア』明治図書出版
- 水戸部修治 2025『小学校国語科「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する言語活動&学習評価 自己調整して学び進める「ロングレンジ」の授業アイデア』明治図書出版
- 全国国語授業研究会・筑波大学附属小学校国語研究部編 2022『小学校「個別最適な学び」と「協働的な学び」をつなぐ国語授業』東洋館出版
- 簗手章吾 2021『子どもが自ら学び出す！ 自由進度学習のはじめかた』学陽書房
- 吉野竜一 2023『こどもにゆだねる国語授業 「自由進度学習」の取り入れ方・進め方』明治図書出版
- 木村明憲 2023『自己調整学習 主体的な学習者を育む方法と実践』明治図書出版
- 木村明憲 2024『自己調整学習チェックリスト リストを用いた授業実践30』さくら社
- 友田真 2024『自ら学びをコントロールする力を育む自己調整学習』明治図書出版
- 友田真 2025『自ら学びをコントロールする力を実装する自己調整学習』明治図書出版
- 横田富信 2024『子どもの自己調整スキルを磨く 個別最適な学びと協働的な学びを根底から支える』東洋館出版
- 吉野竜一 2023『こどもにゆだねる国語授業 「自由進度学習」の取り入れ方・進め方』明治図書出版